

結ばれた「どんぐりの絆」

～子どもたちの笑顔が咲いたどんぐり植樹会～



園児と一緒に、苗木を植樹する
「2023ミスみどりの大使」の上村さや香さん



全国から届いた、どんぐりの苗木

園児たちは元気に苗木を受け取って、移植ごてで苗畑に穴を掘り、一生懸命、真剣なまなざしで次々に植えていきます。保護者や上村さや香

おおきくなあれ、おおきくなあれ

つつみこども園では、令和3年度に初めてこの植樹会を開催して、今回が3回目。今回の植樹会は、みどりと木への親しみを広める「2023ミスみどりの大使」の上村さや香さんと、東北復興グリーンウェイブのアンバサダー「どんぐり〜ず」の2人がゲストとして参加し、会場を盛り上げました。

おおきくなあれ、おおきくなあれ。東北復興グリーンウェイブのテーマソング「♪どんぐりえがお」に合わせて踊る「どんぐり〜ず」の2人。園児たちも教えられたとおり、2人を見ながらダンスを踊り、時には笑顔を見せて楽しんでいました。

東北復興グリーンウェイブのテーマソング「♪どんぐりえがお」に合わせて踊り楽しむ園児たち。曇天にもかかわらず、園児たちの笑顔の花は明るく咲き誇る。

5月22日（月）、幼保連携型認定こども園つつみこども園主催による植樹会が行われました。つつみこども園、吉里吉里保育園の園児と、その保護者約50名が参加し、コナラやシラカシなどの約100本の苗木が、吉里吉里地区の苗畑に植樹されました。

この植樹会は、NPO法人子ども森づくり推進ネットワークが行うJP子どもの森づくり運動という植樹活動の一環として、岩手県をはじめ、全国の保育園やこども園などが



テーマソング「♪どんぐりえがお」を踊る「どんぐり〜ず」の2人

さんのほか、来賓も園児たちにアドバイスをしながら、一緒に植樹をしました。全ての苗木の植樹を終えた後は、みんなでジョウロを持って、苗木が元気に育ってくれるように水をあげました。

今回植樹した約100本の苗木は、東北復興グリーンウェイブの活動に賛同した全国のこども園や保育園など17園から、思いが込められて届けられたものです。

東日本大震災津波の被災地で子どもたちが拾った東北のどんぐりが、全国の子どものもとに渡り、苗木に育てられて東北に戻る。この日、苗木がバトンとして、全国の子どもたちから、つつみこども園と吉里吉里保育園の園児たちに繋がれた日となりました。

この植樹された苗木の一部は、苗畑で育樹された後、震災津波の犠牲者への追悼と、教訓の伝承、これまでの町の復興支援への感謝などを基本理念として整備を計画している「仮称鎮魂の森」に植樹される予定です。

取り組む東日本大震災津波被災地への緑の復興支援活動で、平成24年に岩手県山田町から始まりました。この活動は、全国で100園を超えるこども園や保育園などが参加しているほか、日本郵政グループが特別協賛しています。



共に成長する姿を見届けたい

どんぐりに対しての愛着が深まったように感じます。この活動を通して、園児たちにとっては、自然を学ぶ貴重な体験にもなったと実感しています。今回植樹した苗畑は、吉里吉里地区の人たちが園児たちを思い、ボランティアで整備してくれました。

苗木は、園児と共に成長します。将来、大人になった園児たちが、成長したどんぐりの木にどう関わっていくのか楽しみで、見届けていきたいと思っています。



芳賀 カンナ さん
幼保連携型認定こども園
つつみこども園 園長

